

艇跡

2025 年 10 月号

発行 : 名古屋工業大学ボート部

編集 : 市川果凜 船橋綾伽 飯田大介 鈴木満帆

出原咲 中山満喜 行武美咲 天野海

石田美紗貴 片桐なるみ 田中香帆 谷勇獅

猛暑の夏も終わりをつげ、秋風の心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の全日本大学選手権大会では、最終日まで残ることができませんでした。新シーズンでは、その雪辱を果たせるよう、日々練習に励んでまいりますので、今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。



目次

関西選手権競漕大会	2
全日本大学選手権大会	8
観漕会・激励会	13
幹部交代のお知らせ	15
今後の予定	18

関西選手権競漕大会・浜寺杯

厳しい暑さの中、関西選手権競漕大会が開催されました。今回は男子舵手付きフォア A が第 5 位という大躍進の結果となりました。インカレに向けて残り少ない時間を大切に、練習に励んでまいります。

日程 : 2025 年 7 月 5 日(土)～6 日(日)

場所 : 大阪府高石市 大阪府立漕艇センター 2000m

出漕クルー : 男子舵手つきフォア A	C:亀島快斗② S:田中裕大④ 3:岡田翔太③
男子舵手つきフォア B	2:市岡俊祐① B:宮倉悠吾②
男子シングルスカル(浜寺杯)	C:岡本友那① S:太田泰睦② 3:下野泰知③
女子ダブルスカル	2:加藤大智③ B:荒井史豊②
女子シングルスカル A	赤松大輔②
女子シングルスカル B	S:鈴木葉奈② B:外山日南乃②
	鷲尾ひより③
	稲垣仁美③

○内の数字は学年を示します。

◆男子舵手つきフォア A◆

＜予選 1 組＞2 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	名古屋工業大学 A	－	－	5:49.21	7:48.71
2	鹿児島大学	－	－	5:47.93	7:49.08
3	関西大学	－	－	6:10.30	8:20.84
4	鳥取大学	－	－	6:15.68	8:31.56
5	岡山大学	－	－	6:23.52	8:42.69
6	関西学院大学	－	－	6:37.89	9:03.40

＜準決勝 2 組＞3 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	同志社大学	－	－	5:30.46	7:20.86
2	金沢大学 A	－	－	5:29.54	7:22.32
3	名古屋工業大学 A	－	－	5:37.65	7:24.55
4	鹿児島大学	－	－	5:35.65	7:29.19
5	名古屋大学	－	－	5:43.75	7:43.03
6	大阪大学	－	－	5:54.73	7:55.41



男子舵手付きフォア A のレースの様子です。

＜決勝 1 組＞

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	同志社大学	－	－	5:28.07	7:21.46
2	富山国際大学	－	－	5:32.99	7:23.75
3	山口大学	－	－	5:31.60	7:28.68
4	金沢大学 A	－	－	5:34.36	7:29.56
5	名古屋工業大学 A	－	－	5:37.13	7:31.84
6	滋賀医科大学 暁	－	－	5:54.73	7:55.41

◆男子舵手つきフォア B◆

＜予選 2 組＞2 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	富山国際大学	－	－	5:43.04	7:41.76
2	滋賀医科大学 暁	－	－	5:48.65	7:51.13
3	金沢大学B	－	－	5:58.18	8:02.25
4	関西学院大学A	－	－	6:03.08	8:08.88
5	名古屋工業大学 B	－	－	6:18.65	8:25.83

＜R 決勝 1 組＞

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	関西学院大学A	－	－	5:47.97	－
2	名古屋工業大学 B	－	－	5:56.82	－
3	広島大学	－	－	6:03.67	－
4	鳥取大学	－	－	6:05.05	－
5	岡山大学 A	－	－	6:08.92	－
6	関西大学	－	－	6:13.48	－

◆男子シングルスカル(浜寺杯)◆

＜予選 2 組＞4 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	広島大学(木村)	－	－	7:43.55	10:29.22
2	名古屋工業大学(赤松)	－	－	7:59.91	10:44.49
3	京都大学 A(大蔵)	－	－	8:15.43	11:17.39
4	大阪大学 A(木下)	－	－	9:09.79	12:03.11
DNS	立命館大学 A(向原)	－	－	－	－



左から2年太田と荒井です。



3年の下野です。

＜決勝 1 組＞

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	立命館大学 B(高瀬)	－	－	6:30.25	8:44.02
2	滋賀大学教育学部 遥(川見)	－	－	6:37.66	8:57.05
3	広島大学 A(木村)	－	－	7:03.21	9:33.95
4	九州大学(小田島)	－	－	7:01.42	9:34.55
DNF	名古屋工業大学(赤松)	－	－	6:44.98	－
DNF	京都大学 A(大蔵)	－	－	7:04.14	－

◆女子ダブルスカル◆

＜予選 3 組＞2 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	富山国際大学 B	－	4:10.77	－	8:42.87
2	関西みらい銀行	－	4:14.19	－	8:47.82
3	東京科学大学歯学系 A	－	4:30.46	－	9:08.49
4	名古屋工業大学	－	4:58.66	－	10:08.08
5	愛媛大学 B	－	5:07.34	－	12:42.00

＜R 決勝 1 組＞

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	龍谷大学	2:18.25	－	7:01.16	－
2	鳥取大学 A	2:22.55	－	7:12.40	－
3	金沢大学 B	2:22.76	－	7:19.01	－
4	名古屋工業大学	2:27.03	－	7:29.41	－
5	滋賀大学教育学部 叶	2:28.20	－	7:29.67	－
6	東京科学大学歯学系 B	2:36.49	－	7:56.60	－

◆女子シングルスカル◆

＜予選 2 組＞2 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	滋賀大学 A(銚藤)	－	－	7:12.32	9:36.53
2	関西みらい銀行(山吹)	－	－	7:16.56	9:49.06
3	京都大学 A(鈴木)	－	－	7:50.89	10:28.58
4	同志社大学 A(木村)	－	－	8:02.85	10:39.11
5	名古屋工業大学 B(稲垣)	－	－	8:04.18	10:39.53
6	桐蔭高校C(坂下)	－	－	8:11.27	10:57.10



男子シングルスカルのレースの様子です。

<予選 5 組>2 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	岡山大学 A(神尾)	-	-	7:24.68	10:00.46
2	名古屋工業大学 A(鷺尾)	-	-	7:31.30	10:09.77
4	龍谷大学 B(油谷)	-	-	7:49.12	10:27.38
5	神戸大学(辻村)	-	-	7:49.47	10:32.09
6	南山大学(勝原)	-	-	-	12:54.25

<R 決勝 1 組>

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	神戸大学(辻村)	2:29.15	-	7:24.41	-
2	京都大学 A(鈴木)	2:28.78	-	7:30.28	-
3	関西学院大学(南)	2:31.62	-	7:33.71	-
4	同志社大学 A(木村)	2:40.34	-	7:45.93	-
5	名古屋工業大学 B(稲垣)	2:44.44	-	7:53.61	-
6	龍谷大学(油谷)	2:44.09	-	8:01.74	-

<準決勝 3 組>2 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	トヨタRC(田井)	-	-	7:09.29	9:44.03
2	富山国際大学(高畠)	-	-	7:17.63	9:47.12
3	岡山大学 A(神尾)	-	-	7:37.99	10:05.99
4	名古屋工業大学 A(鷺尾)	-	-	7:38.30	10:14.41
5	桐蔭高校 B(南)	-	-	7:49.71	10:20.93
6	滋賀大学(木本)	-	-	7:41.41	10:23.79



●クルーの言葉●

男子舵手つきフォア A C: 亀島快斗(2 年)

このクルーにとっては 2000m レースであり、かつ他大学と真剣に競う初の試合でしたが、A 決勝進出を目標に今大会に挑みました。前日練習では浜寺の波に苦しめられ、あまり満足のいく漕ぎはできず不安が募る状態でした。しかし、他の艇も同じ波を受けている状況は同じであるため、漕ぎの精密さを求めるのではなく、とにかく第 3 クォーターの集中力をあげていくという作戦に切り替えました。大会 1 日目の予選では、前半で先行し、中盤で抜かれたものの、後半に巻き返して 1 位でゴールする、プラン通りのレースができました。また、自分たちも他大学と 1 位争いができるのだという自信もついたレースになりました。2 日目も同様のレースプランで、コンスタントのペースを維持しつつ、着順で確実に決勝に進むことを目標にしました。しかし、スタート前に待機時間が長く、その影響もあってかミスが続き、1000m 通過時で決勝進出ラインまで 4 秒差となりましたが、得意の後半で巻き返し、3 着に入ることができました。決勝では「満足のいくレースをしよう」とクルーで話し合い、疲労が大きく残る中でしたが、5 着でレースを終えました。後半の集中力という強みを見つめられた反面、特に決勝では他大学に漕ぐごとに差を広げられてしまう弱さも見つかりました。残り 2 ヶ月はスタートとラストスパートの鋭さを磨きつつ、コンスタントでも他大学からリードを奪えるよう、引き続き練習していきます。たくさんの応援と差し入れ、ありがとうございました。

男子舵手つきフォア A 2: 市岡俊祐(1 年)

今回、私は付きフォアの 2 番として出漕しました。高校まではスカルしか漕いでこなかったこともあり、スweep の技術に慣れることや、クルー全員の漕ぎに合わせることに苦戦しました。技術面では多くの課題がありましたが、試合本番ではラストスパートで大きく伸びる、良い漕ぎができたと感じています。しかし、試合中盤で、まだまだ伸び代のあるクルーだと感じていますので、チームに貢献できるよう今後とも練習に励んでいきます。

男子舵手つきフォア B S: 太田泰睦(2 年)

今大会は、約 3 ヶ月にわたる練習の集大成として臨んだ試合でした。クルー全員が関西選手権への出場、また猛暑の中での 2000m レースともに初めての経験であり、予想通り厳しい試合となりました。予選ではスタートが上手く決まらず、他クルーに先行を許す形となり、終始苦しい展開を強いられました。また、浜寺特有の風や波に十分に対応できず、自分たちの漕ぎを十分に発揮することができませんでした。続く R 決勝では、予選の反省を生かし、納得のいくレースができたと感じています。序盤は狙い通りの展開ができましたが、中盤以降で安定したスピードを維持する点が今後の課題として残りました。

男子舵手つきフォア B B: 荒井史豊(2 年)

今回の関西選手権は、私にとって初めて庄内川以外の会場で臨む 2000m の試合となりました。これまでの 1000m レースとは練習の強度も格段に上がり、非常に厳しいものでしたが、大会に至るまでの期間も、艇のラダーの故障や怪我人の発生など、不安定な時期が続きました。しかし、日々練習を重ねてきた成果もあり、レース本番では、予選こそ他艇に先行を許したものの、続く R 決勝では、スタートも比較的上手く決まり、自分たちの力を発揮できたと感じています。次の 2000m レースでは、他の私立大学とも競り合えるよう、より一層練習に励んでいきます。今後とも、ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

男子シングルスカル 赤松大輔(2 年)

初めての 2000m レースは、逆風かつ波が高いという厳しいコンディションでした。遠征と暑さによる疲れも重なり、思うようなレースができませんでした。予選はスタートでアクシデントがあり、大きく出遅れてしまいましたが、中盤から追いつけることができたのは大きな収穫でした。決勝ではスタートから良いリズムで漕ぐことができ、1000m をトップで通過しました。しかし、波にブレードを取られることが多くなり、バランスを崩して大きく失速してしまいました。最終的に完漕できず途中棄権という、非常に悔しい結果となりました。練習してきた成果を発揮できなかったことが悔やまれますが、これが今の自分の実力だと真摯に受け止め、より一層練習に励んでいきます。

女子ダブルスカル B:外山日南乃(2 年)

今回の試合は、私にとって初めての 2000m レースでした。当日は波が高く、艇にスピードが乗らず、思うように漕ぐことができませんでした。今後は、荒れたコンディションでも自分たちの漕ぎを崩さないよう、技術をさらに高めていきたいと考えています。また、中部ではめったに出会えない同学年の女子ダブルと艇を並べられたことは、とても嬉しく、貴重な経験となりました。彼女たちに負けないう、これからも練習に励んでいきます。

女子シングルスカル A 鷲尾ひより(3 年)

昨年出場した時は、まだ経験も浅く、勝負に挑める準備ができておらず、厳しい結果に終わりました。2000m レースの大変さ、全国の大学の強さ、そこで勝ち抜くことの厳しさを痛感した大会でした。2 年生の時にこの経験をしたことで、3 年生ではしっかり準備をして再挑戦しようと、この 1 年間練習に励んできました。結果として準決勝に進出することができ、とても嬉しく思っています。自分が 1 年間取り組んできたことは、しっかりと力になっているのだと自信を持つことができました。しかし、同時に、今回以上の結果を残すことの厳しさも実感しました。次のインカレでは、今回以上に激しい争いになると思います。昨年に比べて成長できた部分も多くありますが、それ以上に課題も多く見つかりました。インカレまで残りわずかな練習期間ですが、向上心を忘れず、集中して練習に取り組んでいきます。また、今回の関選は出場クルーが多く、初めて遠征に参加する部員も多かったため、運営面で不安もありましたが、暑い中、遠方まで応援やサポートに駆けつけてくださった補助員の方々、マネージャーの皆さん、そして OB・OG の皆さまに支えていただき、大変助かりました。本当にありがとうございました。

女子シングルスカル B 稲垣仁美(3 年)

今回の関西選手権は 3 年生にして初めてのシングルでの出場でした。ダブルでは何度もやっている 2000m ですが、シングルとなると必要となる体力もメンタルも段違いでした。キャッチで体重を使うことを課題として掲げ、入れた瞬間から艇を動かせるように修正しながら練習してきました。準決勝に進むことはできませんでしたが、R 決勝の 1 組目に食い込めたのは嬉しかったです。技術面、メンタル面での成長を感じるこのできる大会となりました。しかし、波が高く思うような漕ぎができなかったり、差しきれなかったりしたのが心残りなので、来年また再挑戦するかもしれません。応援ありがとうございました。

全日本大学選手権大会

厳しい暑が続く中、全日本大学選手権大会が開催されました。男子舵手付きフォアが準々決勝に進出しました。出場したすべてのクルーが1年間の練習の成果を存分に発揮することのできた大会となりました。新シーズンでも目標に向かって部員一同、日々精進してまいります。

日程：2025年9月3日(水)～7日(日)

場所：埼玉県戸田市 戸田ボートコース 2000m

出漕クルー	男子舵手付きフォア	C:亀島快斗②	S:田中裕大④	3:岡田翔太③
		2:市岡俊祐①	B:宮倉悠吾②	
	女子エイト	C:長坂玲央 (北海道大学)	S:鎌倉恵美理 (筑波大学)	7:稲垣仁美③
		6:足立真唯 (名古屋大学)	5:美素利香 (名古屋大学)	4:福永恭子 (名古屋大学)
		3:高橋真生 (東北大学)	2:鈴木志歩 (北海道大学)	B:青木優衣 (北海道大学)
	女子シングルスカル	鷲尾ひより③		

○内の数字は学年を示します。

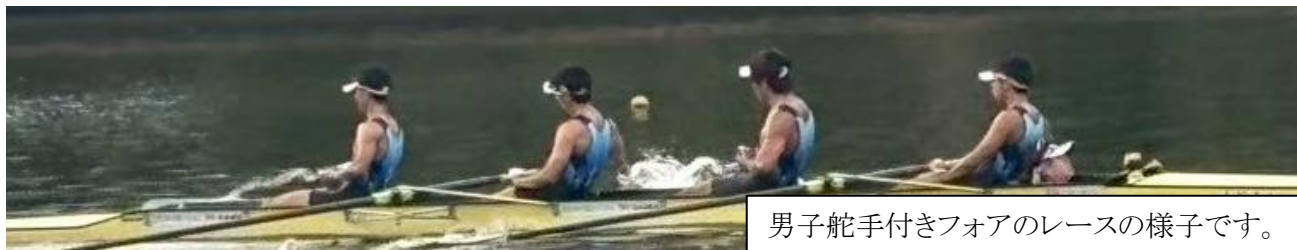
◆男子舵手つきフォア◆

＜予選7組＞1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	名古屋工業大学	1:43.49	3:31.89	5:18.83	7:03.92
2	滋賀大学	1:44.86	3:33.03	5:21.51	7:07.91
3	関西学院大学	1:41.77	3:29.95	5:22.28	7:15.61
4	大阪大学	1:50.67	3:46.88	5:44.35	7:37.77

＜準々決勝4組＞2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	富山国際大学	1:40.25	3:28.24	5:21.72	7:15.46
2	東京経済大学	1:50.28	3:42.19	5:32.33	7:15.46
3	同志社大学	1:45.52	3:37.83	5:30.32	7:20.57
4	名古屋工業大学	1:47.47	3:39.67	5:32.75	7:23.86
5	成蹊大学	1:47.96	3:38.44	5:30.84	7:24.24



男子舵手付きフォアのレースの様子です。

◆女子エイト◆

<予選2組>1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	立教大学	1:39.43	3:20.59	5:00.53	6:40.99
2	仙台大学	1:39.09	3:20.82	5:03.61	6:46.79
3	大阪神戸混成	1:45.61	3:33.85	5:21.47	7:08.36
4	日本体育大学	1:44.94	3:32.57	5:22.38	7:11.16
5	北名東北名工筑波混成	1:55.36	3:52.35	5:47.35	7:40.19

<敗復2組>4杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	仙台大学	1:48.67	3:39.99	5:29.62	7:18.86
2	同志社大学	1:51.20	3:45.54	5:37.68	7:29.23
3	龍谷大学	1:55.42	3:53.46	5:50.01	7:41.97
4	北名東北名工筑波混成	1:58.43	3:58.59	5:54.15	7:47.46

<B決勝>

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	大阪神戸混成	1:48.11	3:37.18	5:26.16	7:13.19
2	龍谷大学	1:49.65	3:37.93	5:26.96	7:14.74
3	北名東北名工筑波混成	1:55.06	3:50.39	5:44.58	7:35.28
4	一橋大・東京大混成	2:01.41	4:13.01	6:18.27	8:21.99



男子舵手付きフォアの5人です。



2年の亀島です。



男子舵手付きフォアのレースの様子です。※

◆女子シングルスカル◆

＜予選 1 組＞1 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	富山国際大学(高島)	2:01.60	4:13.34	6:26.08	8:35.59
2	小樽商科大学(森本)	2:06.98	4:19.65	6:31.42	8:38.33
3	名古屋工業大学(鷺尾)	2:09.33	4:23.62	6:38.97	8:52.46
4	神戸大学(辻村)	2:10.56	4:27.15	6:43.65	8:53.36
5	岡山大学(神尾)	2:08.16	4:22.64	6:38.52	8:53.51

＜敗復 4 組＞3 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	茨城大学(渡邊)	2:07.50	4:23.78	6:42.42	8:55.91
2	成城大学(近藤)	2:11.93	4:29.57	6:47.67	8:58.62
3	東北大学(宮本)	2:13.83	4:31.62	6:52.25	9:06.13
4	名古屋工業大学(鷺尾)	2:12.90	4:32.64	6:53.59	9:10.64



※写真提供/JARA 広報

●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア S:田中裕大(4年)

私にとっては今までのボート競技の集大成として最も自信を持って臨んだインカレでした。予選では組み合わせにも恵まれ、「レース前に予選組1着で準々決勝に上がる」ことをクルー共通の目標として臨みました。前半は他クルーに先行される展開になり、いつも1000mでかけるアタックを100mほど前でかけました。そこで、全員で艇速を伸ばし先頭に出ることができました。後半は、後続との差を広げつつ自分たちの漕ぎができ、そのままゴールすることができました。

準々決勝の相手は予選タイムが若干上でしたが、大きな差ではなく「絶対に2着以内に入って準決勝に進む」という思いで臨みました。レースが始まるとやはり予選とのレベルの違いを感じましたが、2着を射程に入れつつ集団についていきました。自分たちの強みである第4クォーターでの追い上げをしようと全力を出しましたが、順位を上げることはできませんでした。逆に東京経済大学に抜かされ、完敗となりました。

個人としては、くやしさがありますが、やり切ったという満足感が大きいです。2年前初めて出場したインカレであんなに遠く感じた全国レベルのチームとの差が、勝てると思えるくらい近くなりました。後輩たちはこの差を逆転するために、これからの1年また練習に励んでほしいです。

男子舵手付きフォア 3:岡田翔太(3年)

前回の関西選手権の決勝では5位になることができ、自分たちの練習が通用することを実感し、自信ができました。しかし、その後の練習でスランプのようなものに陥ってしまい、自分たちの練習が本当に大丈夫かどうか不安になりました。結局、その不安は戸田入りしても消えず、納得のいく練習ができませんでした。それでも予選では自分たちの漕ぎができ1位で上がった時は嬉しいよりも安心した気持ちが勝ちました。そして迎えた準々決勝は、雨のおかげで暑くもなく漕ぎやすいコンディションでした。レース自体も全員ミスもなく納得のいく漕ぎとレース展開ができました。だからこそ、4位という結果はすごく悔しいです。戸田勢の実力を思い知らされました。

昨年はダブルで出場しましたが、敗者復活戦で敗退しました。今回は準々決勝まで進むことができ、年々少しずつ段階を進むことができています。来年はさらに高みを目指し、最終日に残れるように努力してまいりますので、これからもご支援よろしくお願い致します。

女子エイト 7:稲垣仁美(3年)

今回のエイトは5つの国立大学で構成されており、名工大からは私1人での参加でした。戸田に入るまでは名大の子達と1ヶ月間、みっちり舵手付きフォアでスweepの練習をしました。戸田入りしてからは4回しかエイトの練習ができませんでした。向上心に溢れたメンバーばかりで、練習や試合を重ねる毎にどんどんタイムが上がり、とても楽しかったです。

レベルの高いクルーが多く、結果を残すことが出来なかったのは非常に悔しいですが、全国各地で頑張る女子漕手達と交流できたこと、もう一度戸田で漕げたこと、そしてバックウィングのエイトに乗れたこと、どれも貴重でとても良い経験になりました。本当に沢山の人の協力、支えがあったからこそ成り立った、出場することができたレースです。こんな私にも「頑張れ」と言ってくれる人がたくさんいました。感謝の気持ちでいっぱいです。応援ありがとうございました。



舵手付きフォアのレース後の様子です。



左から4年の田中、3年の下野です。

女子シングルスカル 鷲尾ひより(3 年)

昨年の経験を経て今年は1年かけて準備を行い、勝負に挑んだ大会だったため、準々決勝に行けなかったという結果はとても悔しかったです。個人的には準備期間から本番のレースまで落ち着いて、ミスもなく漕ぎきることができたため、後悔はありません。一緒に出場したフォアの結果も含めて、インカレがいかに厳しいものなのかを実感しました。タイムを見るとわずか数秒の差で結果が大きく分かれていて、上のレースへ進むことは不可能なことではないのだと分かりました。その数秒を縮めるために日々、ひたむきな努力が必要で、ボートが厳しい競技であると改めて実感しました。

今年は出場クルーが少なかったため、戸田での1週間で沢山のマネージャーさんや補助員の人に支えてもらいました。日々、支えてくれる人たちがいることを忘れないように心がけていましたが、実際にはその感謝の気持ちはまだまだ足りないのだと感じました。応援してくださる人たちのためにも選手にできることは競技に真剣に取り組むことだと思うため、苦しくても大会に挑戦することは大切だと改めて思いました。

3年生のインカレを大きな節目にして頑張ってきたため、これからは後輩たちが頑張っていけるように部活のために活動していきたいです。



左から2年の中山と鈴木(満)です。



3年の加藤です。



男子舵手付きフォアのレース後の様子です。



集合写真です！

観漕会・激励会

夏らしい快晴の下、観漕会が行われました。OB・OGの皆様にインカレクルーの漕ぎを見て頂きました。また、激励会では多くのアドバイス、激励のお言葉を頂くことができました。OB・OGの皆様の応援を胸に、部員一同全力でインカレに臨んで参ります。

日程：2025年8月2日(土)

場所：愛知県名古屋市中川区 庄内川艇庫、福林





インカレクルーの紹介です。



R4 年卒の篠田さんです。



左から R7 年卒の上野さん、
4 年の杉浦です。



1 年生の紹介です。

●●応援にきてくださった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
	白艇会会長	佐野武雄		部長	犬塚信博	R4	LC	中西柊斗
R4	EM	篠田裕也	R5	CR	山内梨沙子	R5	LC	宇野希美
R5	EM	高木勝義	R7	LC	竹中翼	R7	CR	中村優希
R7	LC	山下昇悟	R7	LC	古瀬幸太郎	R7	AC	加藤碩二郎
R7	AC	垣内春乃	R7	AC	上野優奈			

●●白艇会費をくださった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
	白艇会会長	佐野武雄		部長	犬塚信博	R4	LC	中西柊斗
R4	EM	篠田裕也						

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

幹部交代のお知らせ

今シーズンの新たな幹部が決定いたしましたので、お知らせいたします。
この幹部で部を運営して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

主将	岡田翔太(3 年)	生命・応用化学科
主務	船橋綾伽(3 年)	創造工学教育過程-材料・エネルギーコース
会計	行武美咲(2 年)	社会工学科
副将	亀島快斗(2 年)	生命・応用化学科
副務	飯田大介(2 年)	生命・応用化学科

はじめに、昨シーズン幹部を務めました 5 名の言葉です。

○●前期幹部の言葉●○

前期主将:田中裕大(4 年)

この 1 年主将を務めさせていただきました。この 1 年間、部の強化をすべく練習日数を増やしたり、新しいモデルのオールを購入したり様々なことを行いました。その成果もあり、名大戦では久しぶりに男女種目ともに完全勝利を収め、関西選手権では決勝進出などの結果を残すことができました。ただ最も大きな目標としていたインカレ最終日の目標は達成できず悔しい結果となりました。

試合で勝つことはスポーツにおいて最も楽しい瞬間であり、マネージャーや OB・OG の皆様によるサポートに恩返しする一番の方法だと考えています。その点において今年はいくつかのレースで勝利することができ、達成感を覚える一方、最後のレースで勝ち切ることができず悔しい思いもしました。来年度は、インカレを経験したメンバーを中心として今年度以上の結果を残すことを期待しています。

最後になりますが、OB・OG の皆様のご支援により、今年度も名工大ボート部は活動することができました。また艇庫での生活用品や食品など多くの物品の支援もいただき、この場を借りてお礼申し上げます。今後とも、ご支援・ご声援のほどよろしくお願い致します。

前期主務:無関まりの(4 年)

前任の上野先輩から主務を引き継いだ時には、自分にこの役職が務まるのか不安の気持ちでいっぱいでしたが、無事 1 年を終えることができました。ボート部が円滑に運営できているのは、先輩方、同期、後輩のみんなの助けは勿論、OB・OG の皆様のご支援のおかげであることを改めて実感しました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

ここ数年で漕手、マネージャーともに数が大きく増え、艇庫は一層賑やかになりました。その一方、大勢の部員が同じ目標に向かって進むことの難しさも痛感しました。部を運営したり、まとめていったりする上で至らなさを実感しましたが、ボート部でしかできない多くの貴重な経験をさせていただけたことは私の一生の財産です。

最後になりますが今後とも名古屋工業大学ボート部へのご支援・ご声援、よろしくお願い致します。

前期会計:行武美咲(2年)

1年間会計を務めさせていただきました。私自身の未熟さゆえにご迷惑をおかけすることもありましたが、先輩方、同期、後輩、そしてOB・OGの皆さまのお力添えのおかげで、1年間運営することができたと感じております。

幹部を務める中で、これまで部を支え、受け継いでこられた先輩方の偉大さ、そしてOB・OGの皆さまのご支援の大きさとありがたさを改めて実感いたしました。昨シーズンも多大なるご支援とご協力をいただいたことに心から感謝いたします。誠にありがとうございました。

前期副将:岡田翔太(3年)

1年間副将を務めさせていただきました。主将の補佐として部の運営に携わり、たくさんのことを学ばせていただきました。特に、たくさんの人の意見を聞き、まとめることの重要性について改めて認識しました。来年度は主将として部の運営に関わるため、この1年間で得たものを糧に、より良い部活作りを心がけたいと思います。

前期副務:船橋綾伽(3年)

この1年間、副務として活動する中で、改めてボート部という温かい場所にいられることへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。日々の練習や行事を通して、共に支え合い、高め合える仲間の存在の大きさを強く感じました。

また、これまで部を築き上げてこられた先輩方の姿勢や思いに触れるたびに、その深い愛情と情熱に心を打たれました。今の自分があるのは、そうした先輩方の努力と支えがあってこそだと実感しています。

これからも感謝の気持ちを忘れず、部の一員として誇りを持って活動していきたいと思います。

続きまして、今シーズン幹部を務めます 5 名の言葉です。

○●新幹部の言葉●○

主将:岡田翔太(3 年)

前期は副将として主将を補佐する中で多くのことを学びました。その経験を活かし、今期はさらに良い部活づくりに取り組みたいと考えています。

今期の目標は「記憶に残る強いチーム」を作ることです。私にとってその姿は、インカレで結果を残し、存在感を示すチームです。前期のインカレでは準々決勝で敗退し、東京の大学とのレベルの差を痛感しました。しかし、私たちにはまだ大きな伸びしろがあると信じています。練習の質をさらに高め、必ずインカレで結果を残したいと思います。

OB・OG の皆様、そして新人コーチの院生の方々、これからも部全体で力を合わせて精進してまいります。変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

主務:船橋綾伽(3 年)

今シーズンは主務として、部の活動が円滑に進むように環境を整えながら、さまざまな視点からチーム全体を支えていけるよう取り組んでいきます。練習や行事の準備・調整はもちろん、部員一人ひとりが安心して力を発揮できるよう、細やかな気配りを大切にしていきたいです。また、チーム全体で成長していける雰囲気づくりにも力を入れていきます。

未熟な点も多いですが、これまで支えてくださった方々への感謝を忘れずに、主務としての責任を果たせるよう精一杯頑張ります。今後ともご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

会計:行武美咲(2 年)

昨シーズンに引き続き会計を務めさせていただきます。昨シーズンは目の前の業務をこなすことに精一杯でしたが、その反省をふまえ、今シーズンはより確実に円滑な管理を心がけてまいります。あわせて、部員とのコミュニケーションを大切にし、部員が目標に向かって全力を尽くせるような運営が出来るよう、努めてまいります。

至らない点もあるかと存じますが、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

副将:亀島快斗(2 年)

主将の翔太先輩が部全体の運営に集中できるよう、私は副将として漕手一人ひとりが最大限の力を発揮できるようにまとめていきたいと思います。

未熟な点も多いですが、副将として成長し、チームに貢献できるよう全力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副務:飯田大介(2 年)

副務という立場から、部全体の活動がより円滑に進むよう、精一杯サポートしていきたいと考えています。常に広い視野を持ち、部員の状況にも気を配りながら、チーム全体の目標達成に貢献できるよう頑張ります。

1 年間よろしくお願いいたします。

今後の予定

新シーズンが始まりました。今後の予定をお知らせいたします。

●●名古屋大学・名古屋工業大学新人対校競漕大会●●

日程 : 2025 年 11 月 23 日(日)

場所 : 愛知県名古屋市中川区 庄内川

出漕クルー : 未定

毎年恒例の対校戦を今年も開催いたします。この試合で、新体制となつてからの練習の成果をご覧いただけます。応援よろしくお願いいたします。

変更・詳細はメーリングリスト・HP・電話にてお知らせいたします。